

【会社メモ】1963年創業。本社・東京都北区。プレス加工によるカメラ・電機通信部品等の製造業でスタートし、82年、電子部門に進出、電子デバイス検査用コンタクトプローブの研究を始めた。86年、国産初シリコンウエハー用4探針プローブの開発に成功し、発展の基盤をつくる。資本金600万円、売上高約1億4000万円(2012年5月期)。従業員16人と社の規模は小さいものの、技術力の高さから「世界一の町工場」と呼ばれる。

タ刊フジ 2013/1/29

> レコード針 **1**

スプリング プローブ 4



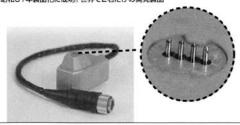
## 特殊コンタクトプローブ

平成7年4月

科学技術庁長官賞「科学技術振興功績賞」受賞

ケルビン4探針プローブ

昭和61年製品化に成功。世界で2名だけの開発製品



## 「産・学・官」連携開発製品

GSG

ピッチ 20µm 周波数 40GHz 測定成功

高周波(ミリ波)プローブ

■2004年

(社)エレクトロニクス実装学会 (JIEP)

■第14回 マイクロ

マイクロエレクトロニクス シンボジウムにて発表



(約)1000倍



(約)×10



GSG基板

3



積層型プローブ

⑤

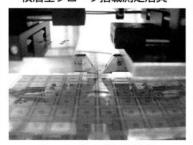




慶應大学、産総研の協力による産学官連携で成功。 積層型技術と四探針技術の複合化で実現。



## 積層型プローブ搭載測定治具



●ファインピッチ/高電流対応可能



